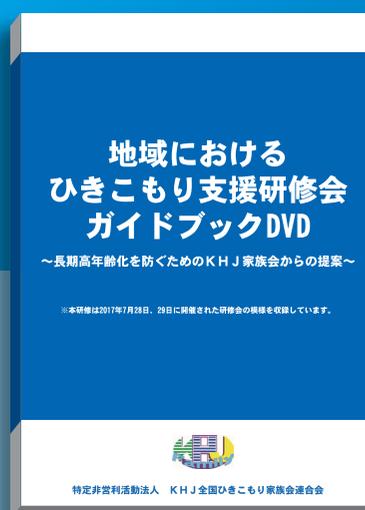


地域におけるひきこもり支援研修会 ガイドブックDVD発売！

ひきこもり問題の理解促進と 支援力向上のための研修会DVD

ひきこもり
長期高齢化を
防ぐための
家族会からの
提案



本DVDは、
2017年7月27日、28日に
開催された研修会の模様を
収録しています。



ひきこもりの問題は、本人が自ら支援を求めることが大変に難しい状況にあります。更にその家族も、ひきこもりの問題を抱え込んでしまい、適切な支援策に繋がらないまま放置されがちです。特に8050問題に代表されるひきこもりの長期高齢化については、問題が複雑に絡み合い、緊急性を伴うものが少なくありません。家庭への支援においては、早期発見、早期対応、家族や本人の視点に立った支援の実現と地域資源と連携した息の長い支援が求められています。

そのために、支援者が適切にアセスメントし、その家族(世帯)に合った関わり方、支援を継続していくための対応を考えることが重要です。

当会は、唯一の全国組織の当事者団体として、その渦中に苦しむ当事者の視点から得られた実践的知識をもとに先駆的な試みを続けて参りました。社会的な誤解や偏見の多い「ひきこもり」について、本DVDで、実践的理解を深めていただければ幸いです。

DVD 8枚組 2巻セット

◆期間限定割引 ~~19,800円~~ ⇒ **14,800円 (税込)**
研修資料(小冊子)付属

<DVD収録内容・講師>

- [1] ひきこもり概論・支援の学び方 牟田武夫(NPO法人教育研究所所長・教育コンサルタント)
 - [2] ひきこもりの現状と社会 川北稔(愛知教育大学 准教授)
 - [3] 本人の体験のプロセスと家族対応 斎藤まさ子(新潟青陵大学看護学研究科教授)
 - [4] ひきこもりの心理的支援 竹中哲夫(日本福祉大学心理臨床相談室 研修指導員 臨床心理士)
 - [5] 訪問支援 鈴木美登里(NPO法人オレンジの会理事・社会福祉士)
 - [6] 就労支援 鈴木美登里(NPO法人オレンジの会理事・社会福祉士)
 - 伊藤正俊(NPO法人から・ころセンター代表 KHJ全国ひきこもり家族会連合会 理事長)
 - [7] 居場所 丸山康彦(ヒューマン・スタジオ代表兼相談員)
 - [8] 家族支援・ガイドブックの意義 境泉洋(宮崎大学教育学部准教授、臨床心理士)
- ※DVD収録時:徳島大学大学院 准教授

<研修・参考文献>

本DVDの講師による共著。ひきこもり支援の実践に役立つ支援者必携の一冊！

地域におけるひきこもり支援ガイドブック 2017/10/6 金剛出版
~長期高齢化による生活困窮を防ぐ~ 境 泉洋(編著) 3,456円

DVDの購入・お問い合わせは

特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族連合会

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-16-12-301 Tel:03-5944-5250 Fax:03-5944-5290
E-mail:info@khj-h.com ホームページ:http://www.khj-h.com

研修講師一覧(敬称略:研修講義の順番で掲載)

牟田 武生

NPO法人「教育研究所」理事長・教育コンサルタント
1984年不登校の教育施設「教育研究所」を開設。40余年にわたり、不登校・ひきこもりの臨床や調査研究を行い、教員や相談者の研修を全国各地で行っている。
不登校・ひきこもりに関する論文、著作は多数。文部科学省「生徒指導提要」執筆者で行政と連携し青少年問題にも取り組んでいる。
不登校・ひきこもりの長期化に対応するため、厚生労働省の委嘱を受けて宇奈月自立塾・にいかわ地域若者サポートステーションを富山県黒部市で開設、若者の就労支援の活動も行っている。

斎藤 まさ子

新潟青陵大学大学院看護学研究科教授
新潟大学大学院法学研究科卒業。法学修士。
精神科臨床経験7年、看護専門学校6年の経験を経て、2006年新潟青陵大学に着任。
2014年より同大学教授。共著「地域資源を活かした発達障害のある子どもへの支援ー療育・保育・教育の視点からー」(ウエストーン)、「学生のための精神看護学(医学書院)」、他。
ひきこもりの親の会支援プログラムに関する研究等、ひきこもり家族会に関する研究実績多数。

鈴木 美登里

NPO法人「名古屋オレンジの会」理事、KHJ本部顧問、社会福祉士
生活困窮者自立支援法の「名古屋仕事・暮らし自立サポートセンター大曽根」自立支援相談員
生活困窮者自立支援制度人材養成研修講師
1990年から不登校支援、2001年から引きこもり支援、訪問支援。20年の実績。
小、中、高校時代不登校。自らの経験を活かした本人支援、家族支援、カウンセリング、講演会などを行っている。
訪問支援では長年の実績があり、生活自立、社会参加に向けて活動の場を設け、多くの若者が社会へ巣立っている。

丸山 康彦

不登校・ひきこもり生活研究所「ヒューマン・スタジオ」代表兼相談員。
不登校のため高校を7年かけて卒業。
大学卒業後、高校講師、ひきこもりを経て1999年4月に個人事務所を開設し、青少年支援の学習と活動を開始。
2001年 個人で同スタジオを設立し、不登校・ひきこもりの相談のほか、メールマガジンの執筆配信、家族会やセミナーの開催など多様な関連業務を企画実施。
「ひきこもり生活を楽に、楽しく、安心なものにする」という「ひきこもり生活の質(ひきこもりQOL)向上」を基本方針のひとつとして掲げている。
代表著書「不登校・ひきこもりが終わるときー体験者が当事者と家族に語る、理解と対応の道しるべ」(ライフサポート社)

川北 稔

名古屋大学大学院 博士後期課程単位取得
2010年 愛知教育大学 教育学研究科 講師として着任
2014年より同大学 教育実践研究科 准教授
専門は社会学・教育社会学
ひきこもり・ニートに対する家族会を主体とした社会参加支援策の研究等、社会学的見地からのひきこもりに関する研究多数。
共著に「『ひきこもり』への社会的アプローチ」(ミネルヴァ書房)

竹中 哲夫

1965年大阪市立大学文学部心理学専攻卒業。
同年京都市職員として京都市児童院(現・京都市児童福祉センター)に着任
1982年より日本福祉大学助教授、教授を経て、2009年退職。現日本福祉大学名誉教授。臨床心理士。日本福祉大学心理臨床研究センター(心理臨床相談室)研修指導員として、ひきこもり支援に携わる。
著書に『ひきこもり支援論』(明石書店)、『子ども・若者支援地域協議会のミッションと展望<増補版>長期・年長ひきこもりと若者支援地域ネットワーク』(かもがわ出版)他

伊藤 正俊

1991年 山形県米沢市で「不登校親の会」を立上げ
2003年 同会を「ひきこもり家族会」に変更
2005年 全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会) 山形県支部として参加
2006年 特定非営利活動法人「から・ころ」開設 代表理事就任
ひきこもり本人の居場所を開設・運営
2010年 「から・ころ」が就労支援事業所として山形県から委託。
その後、就労継続支援B型作業所も受託し、高齢者宅への宅配事業やレストラン事業を運営
2014年「全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会)」副理事長に就任
2016年「KHJ全国ひきこもり家族会連合会」に改称し、同年、共同代表に就任

境 泉洋

1999年宮崎大学教育学部卒、2005年博士(人間科学)
志学館大学、徳島大学を経て、2018年4月より宮崎大学教育学部准教授。臨床心理士
日本認知・行動療法学会事務局長、KHJ全国ひきこもり家族会連合会理事
NCNP精神保健研究所薬物依存研究部客員研究員
筆頭著書「CRAFTひきこもりの家族支援ワークブック」(金剛出版)、編著書「地域におけるひきこもり支援ガイドブック」(金剛出版)、分担執筆「ひきこもりに出会ったら」(中外医学社)、「『ひきこもり』考」(創元社)。